



地球大学アドバンス [第28回]

人類のターニングポイント

2010.3.5 fri

COP15の宿題を持ち越して2010年を迎えた地球社会。温暖化のデータ改ざんが問題になった「クライメート・ゲート事件」に象徴されるように、地球温暖化問題に対してはいまだ懐疑論も多く、90年比マイナス25%を掲げた新政権下の日本でも、社会変革の歩みは必ずしもスピードアップしているとはいえません。

しかし仮に地球温暖化論が杞憂だったとしても、いずれにせよこれまでのように石油には頼れないし、人口爆発ともあいまって食糧危機の足音も確実に近づいている。温暖化の是非にかかわらず、人類社会は大きな転換点を迎えており、気候変動のリスクはそうした転換をスピードアップするチャンス(好都合な真実)である。——これが「地球大学」が4年間一貫して提示してきた基本理念です。

COP15も生物多様性のCOP10も、地球と人類の新たな関係をデザインしていくワクワクするような旅のほんの始まりにすぎません。瞬間風速的な日々のニュースに惑わされず、現代がどこへ向かう「途上」なのか？昨今の経済危機も含め、どこへ跳ぶためにかがんでいるのか？を一人一人が考えるべき時に来ています。

地球大学アドバンス今年度の最終回は、環境ジャーナリストでアル・ゴア「不都合な真実」「私たちの選択」の訳者としても知られる枝廣淳子さんとの討論を通じて、2010年の私たちの立ち位置を明確にしてみたいと思います。

[topics]

- 本当に大切なターニングポイントに立つ私たち
- 「コストリテラシー」を養う大切さ
- 枝広さんがみた2009～10年“世界の動向”～アル・ゴアの新著の反響も含めて
- 「温暖化論のホンネ」～懐疑論者との討論で見えてきたこと
- この3年で日本は何をやるべきか？

開催概要

日時: 2010年3月5日(金) 18:30～21:00

ゲスト: 枝廣 淳子さん(環境ジャーナリスト 有限会社イーズ 代表)

企画・司会: 竹村 真一 氏

Earth Literacy Program 代表

エコツェリア・コンテンツプロデューサー

会場: 新丸ビル10階「エコツェリア」

地図: <http://ecozeria.jp/access.html>

定員: 50名(定員になり次第締め切りとさせていただきます)

参加方法: 事前登録が必要です 事前登録URL <http://www.ecozeria.jp/earth/>

参加費: エコツェリア会員企業に所属の方: 無料

*名刺にて照会いたします。名刺(社員証)を必ずご持参下さい。

エコツェリア会員企業非所属の方: 有料2,000円

*新型インフルエンザの発生状況により、急遽イベントを中止することがございます。状況に応じて、参加申し込みの方には、お知らせいたします。

プログラム 18:00 受付開始/18:30 開演/21:00 閉会